



二小だより

H28年 1月行事予定

泉佐野市立第二小学校
平成28年1月8日発行
1月号
校長 森 基

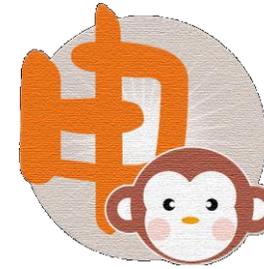


2月の予定

- 1日(月) 火曜時程 委員会活動
- 2日(火) 月曜時程 命の授業(5年5,6限)
- 3日(水) 入学説明会(14:00~)
- 5日(金) 泉南人研大会のため13:30下校 4限授業, 給食・清掃あり
- 8日(月) 市内書き初め展巡回 ~9日(火)
- 10日(水) 集金引き落とし日
- 16日(火) クラブ活動
- 18日(木) 朝日新聞出前授業(5年5,6限)
- 22日(月) 小学校体験入学(10:00~)
- 24日(水) 第3回市内一斉パトロール

	学校行事	PTA行事他
1	金 元日	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金 3学期始業式(3限, 11:30下校)	
9	土	
10	日	
11	月 成人の日	
12	火 3学期給食開始日, 2計測(6年) 集金引き落とし日	
13	水 2計測(5年)	
14	木 人権教室(3年)	
15	金 朝学習, 2計測(4年)	
16	土	
17	日	
18	月 朝学習, 2計測(3年) 給食訪問前事前授業(5年, 6限)	
19	火 クラブ, 2計測(2年)	
20	水 児童朝礼, 金曜時程	
21	木 なわとび(15分休憩) 大阪府連合音楽会(5-1出演) (13:30, 大東市立総合文化センター)	泉支研学習発表会
22	金 朝学習, 2計測(1年) 水曜時程, 4年研究授業 (他学年は午後カット, 13:30下校)	
23	土	
24	日	
25	月 朝学習 給食センター学校訪問(5年)	
26	火 クラブ, なわとび(15分休憩)	第7回家庭教育学級
27	水	
28	木 ALT(6年), なわとび(15分休憩) 水曜時程, 1年研究授業 (他学年は午後カット, 13:30下校)	
29	金 朝学習	
30	土	第5回PTA運営委員会
31	日	

あけまして おめでとうございます



昨年は皆様のおかげで、1年を乗り切ることができました。いろいろな困難を乗り越えてこそ人間は成長します。まじめにコツコツ努力すること。今年もご理解、ご協力をよろしくおねがいいたします。

3学期が始まりました！

「1年の計は元旦にあり」といわれます。2学期の終業式で、これまでの子どもたちの成長をみんなで確認し、喜び合いました。そして、4月には学年が一つあがるのに、どんな自分になっていきたいか、そのためにこれからの3学期をどう過ごすか、特に6年生は、どんな6年生になって卒業したいかを、この冬休みの間に考えておくようにと伝えていました。

新しい年を迎え、子どもたちはきっと「こんな自分になりたい」「そのためにこうしたい」というようなことを考えてくれていると思います。これまでの自分を振り返り、それをもとにこれからどうしていくか、計画を立て実行していく力や、失敗してもその失敗から学んだり、計画を立て直したりできる力も育てたい力です。

1月の玄関に「いまから ここから」という言葉を掲示しています。「いまから ここから」始まります。新しい年になり、一度リセットして気持ちも新たに、今年の1年の計画を立て、実行できる1年にしたいものです。



1月の玄関掲示
「相田みつお」詩集より

学校教育診断票について

昨年末に提出いただいた「学校教育診断票」のご協力ありがとうございました。対象は2年生と5年生でしたが、現在集計を終えたところです。今後結果を分析し、保護者のみなさまにお知らせしたいと思います。

校長の SASAYAKI・TSUBUYAKI・BOYAKI

NHKの連続テレビ小説「あさが来た」の視聴率が高いそうです。私は、ほとんど観ていませんが、女性実業家 広岡浅子の生涯を綴った「小説土佐堀川」が原作のドラマです。

江戸から明治の激動の時代の中、また男性が主の時代の中、女性がこれほどまでに活躍できたのは、なぜでしょう？その努力や苦勞は、想像を絶するものでしょう。常に全力、七転八起を超える「九転十起」のがんばりがあったからこそだと思います。女性の社会進出が叫ばれるようになった昨今でも、昨年末に発表された「世界の男女平等ランキング」では、日本は101位という結果でした。それでもまだまだ女性の社会進出が、世界に比べ低いということでしょう。

先日(1ヶ月ほど前)、大阪商工会議所が開設している「大阪企業家ミュージアム」の事務局長 廣田雅美さんの講演「大阪で活躍した企業家に学ぶ～あきらめないチャレンジ精神～」を聴く機会がありました。その中でも、広岡浅子や五代友厚の話がありました。

先に「いろいろな困難を乗り越えてこそ人間は成長します。まじめにコツコツ努力すること。」と書きましたが、私たち教師や親が、「あきらめないチャレンジ精神」を持った大人として子どもたちにその背中を見せなければなりません。

次代を切り拓く人作りのため、子どもたちに夢や希望を持たせるためにも。